

逗子の景観まちづくり

瓦版 第八十三号

『長柄桜山古墳群 逍遙の小径』

葉桜バス停を西に数分行くと山道の入り口になる。道は二手に分かれ左が古墳の道だが、今日は右へ寄り道する。ここはご近所の方の私有地で何年も前から道を聞き草木を植え、今や素晴らしい見晴台となっている。市の中心部を眼下に展望し逗子湾が光って見える。高木にはブランコが設置されていて少女が乗っていた。怖い位だが少女は意に介せず大きく蹴りだした。それはまるでアルプスの少女だ。

高台のふらここ少女宙を蹴る

道を更に上ると古墳の道にいつの間にか合流し突然小山が出現する。これは1999年葉桜在住の東家洋之助さんによって発見された前方後円墳で神奈川県最



キャラクターデザイン

大日方未明

大級の大きさを誇っている。長い間整備工事で立入禁止状態であったが今春完了しオープン後は自由に墳頂部に上がる事が出来るようになった。墳頂部に立つと見事な大展望が広がっている。江の島のうえに富士山が聳えている。

二〇二四年四月十五日 次号は七月発行予定
編集 逗子市環境都市部まちづくり景観課
協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会
募集 逗子の景観スケッチや六百五十字以内の景観に関するコラム等を募集しています。

逗子葉山には富士山が見える所が沢山あるがここは三本指に入るし、又この景観こそがこの古墳の存在理由であるに違いないと考える。

夕霞富士江の島を抱きをり

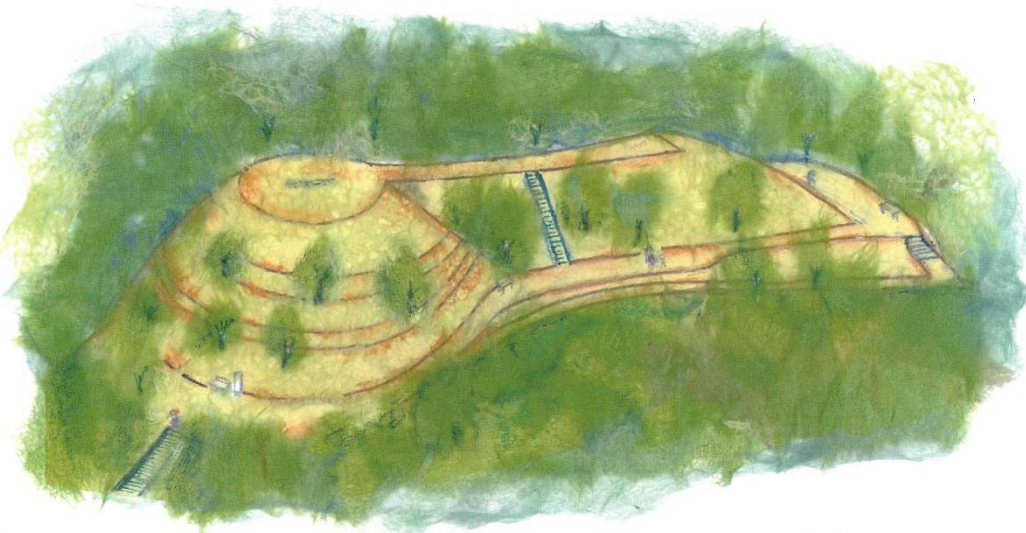
発見者東家さんは庇護者でもある。この素晴らしい古墳を盗掘や破壊からまもり、また多くの方知ってもらふ必要性を感じていた。その考えと人柄に直ぐ同調者が集まり私も富士山麓でネイチャーガイドをやっていた関係もあり一員に加わった。2000年の頃でまだ小さな活動であった。

春浅し古墳の道に静寂あり

1号墳を後に2号墳めざしふれあいロードを歩く。樹林帯に囲まれた土の感触が気持ちの良いコースだ。東家さんとこの小径を歩いたのが懐かしい。古墳や歴史の事だけではなく周囲の植物動物、そして世の中の事など多くの事を教えて頂いた、そんな学びの小径である。一昨年享年93歳で亡くされたのが残念でならない。

不如帰こだま残して飛び立てり

長柄桜山古墳をまもる会
会長 濱野 八十一



貼り絵

森田美智子

二四九・八六八六
逗子市逗子五丁目二番十六号
「逗子市まちづくり景観課 瓦版係」
電話 〇四六・八七三・一一一一
ファックス 〇四六・八七三・四五二〇
machi@city.zushig.jp



市制 70 周年記念 - 景観まちづくり推進事業 -



「令和 2 年度認定・表彰スポット」
「まちなみデザイン逗子とは」

逗子文化の会との共催により、逗子の景観まちづくりの推進を行います。
広報誌「瓦版」や、「まちなみデザイン逗子」の普及啓発として認定制度を周知することにより逗子のまちの魅力を伝えるイベントを行います。

- ・「まちなみデザイン逗子」実践スポット表彰・認定
募集期間：令和 6 年 6 月～8 月（予定）
※詳細は広報ずし 6 月号をご覧ください。
- ・景観広報誌「瓦版」普及（「逗子文化の会」協働事業）
令和 7 年 1 月開催予定
景観シンポジウム・展示（逗子文化プラザホール）



大井戸（小坪 4 丁目）
【令和 2 年度 実践認定スポット】

【災害対策用指定井戸とは？】

Pick up

逗子市では、大地震やその他の災害で水道施設が被害を受け、市民に対する給水が困難となった場合を考え、応急給水の水源を確保するために、災害対策用（生活用水）の井戸を指定しています。市内には 63 本あり、大井戸もそのひとつです。



地域の方が井戸水を生活用水として自由に使えるよう、民有地でありながら公共スペースとして開放しており、街角の憩いのスポットとなっています。

史跡長柄桜山古墳群第 1 号墳オープン

1999 年 3 月に発見された県内最大級の規模を誇る史跡長柄桜山古墳群。2014 年度から逗子市と葉山町が協力して第 1 号墳の整備を進めてきましたが、いよいよこの 4 月 20 日（土）にオープンします。

古墳をまもる会
マスコットキャラクター



ながえ君・さくらちゃん

古墳発見 25 周年記念
大古墳見学会 参加者募集

- 日時： 4 月 27 日（土）、28 日（日）
各 9 時 40 分～（逗子駅発 9：25 のバスが便利）
集合： 葉桜バス停横の公園
参加費：無料 定員：各 50 名
申込先：長柄桜山古墳をまもる会 星野 090-1507-8574



【長柄桜山古墳群：案内図】

ツール・ド・逗子

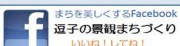
市制 70 周年記念企画

日時	6 月 2 日（日）9 時～17 時（16 時まで、何時からでもスタートできます）
スタート・ゴール	亀岡八幡宮 [参加料] 大人 200 円・小学生以下 100 円 ※保険料込
ルール	約 20 ポイントの中から自分の体力と関心に合わせて 4 ポイント以上を選んで回ります。
主催	歩行者と自転車のまちを考える会 [問合せ] 090-1694-1207（白川）



自転車や歩きで逗子を中心に三浦半島の観光を兼ねて、景観の良いスポットやお店をめぐるクイズ&ポイントラリーです。地域発見とエコツーリズムイベントで、楽しみながら日常の交通安全（自転車の左側通行など）について再認識してもらうことを目標にしています。

瓦版編集担当 逗子市環境都市部まちづくり景観課



逗子市 HP やフェイスブックも見てね！

瓦版のバックナンバー・瓦版冊子は逗子市庁舎二階、まちづくり景観課窓口、市民交流センターに配架しています。